

《グラフィア》
卒業式・しごとの学習を劇で発表しよう

《序文》

始業式に代わる全校集会 野口哲子 (1)

主題

確かな力を培う学習法
——美しさを感じ表現する力——

学習法における「学習の基礎」 中谷内政之 (4)

——木下竹次「学習原論」から——

生活力は学習力、学習力は生活力 岩井邦夫 (10)

美しさを感じる心を育てる 都留進 (16)

❖子ども記 委員会役員の子ども達 阪本一英 (22)

実践

わたしたちの奈良ものがたり(II) 廣岡正昭 (24)

——四年生「じこ」の実践・墨つくり、筆つくり挑戦——

奈良の学習法「やればできる」公立小学校バージョン 小幡肇 (30)

——坂ユカリ先生(名古屋市)、奮闘する——

「手づくりあそび」の研究(一年) 日和佐尚 (36)

子どもが主体的に取り組むエネルギー学習 杉澤学 (42)

——「風と翼の研究」から「風力発電の研究」後編②(五年・けい)理科——

楽しく伝える「かぜの予防」 水原陸 (48)

——保健グループの活動——

❖あのととき… 私 の 師 匠 谷岡義高 (54)

《特別寄稿》

図画工作科指導の原点 藤澤英昭 (56)

《実践寄稿》

自分のまわりの人の大切さを感じられる子どもを育てて 廣瀬智彦 (62)

——二年生、生活科の実践から——

《グラビア》

1年学級開き
4年 篠川観察・奈良市平城浄化センター見学

《序文》

行事での校長挨拶 野口哲子 (1)

主題 確かな力を培う学習法
——体育で育つ子どもの学ぶ力——

学習力を育てるすじ道を考える 廣岡正昭 (4)

——新年度の研究に期するもの——

体育で育つ子どもの学ぶ力を考える 岩井邦夫 (10)

子どもの生活発展をめざす体育学習 阪本一英 (16)

——体育的領域における学習力を育てるすじ道を考える——

子ども記 驚きの一年間 水原睦 (22)

実践

凹の造形「あなの造形」 都留進 (24)

——凹から凸への子どもらしい発想転換——

説明文で学び合う 梶田萬理子 (30)

——「雪国は今——」(四年)——

発光ダイオード(LED)の教材化について 谷岡義高 (36)

——三年、四年での実践から——

「いちご・みかん探検に出かけよう」(三年) 堀本三和子 (42)

——しごと「食べ物たんけん」の実践(Ⅲ)——

子どもが主体的に取り組むエネルギー学習 杉澤学 (48)

——「風と翼の研究」から「風力発電の研究」(総括編(五年)けい)理科——

◆あのととき… 1962年に生まれて 金津琢哉 (54)

《特別寄稿》

学習法 体育雑感 小林篤 (56)

《実践寄稿》

主体的に学ぶ子どもの姿を求めて 天野孝志 (62)

——「めあて」と「ふりかえり」のある授業の実践を通して——

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵：嶋守哲夫

《グラフィア》
6月9日 学習研究集会

《序文》
変革の時代に 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法
——「学習の基盤」をつくるすじ道——

朝の発表、六年間の足跡 岩井邦夫 (4)
学習の基盤を創る 都留 進 (10)
学習力の基盤を考える 廣岡正昭 (16)

◆子ども記 字と自律 榎田 萬理子 (22)

実践

これはおもしろい！と思った学習

四年前期(平成18年度4月から9月)

小幡 肇 (24)

『じい』で育つ自律的学習力

大和は国のまほろば

谷岡 義高 (30)

麺の旅ーそうめん・うどん編ー(三年)

しごと「食べ物たんけん」の実践(Ⅳ)

堀本 和子 (36)

学習の基盤とともに育つ

算数的学習法

太田 誠 (42)

◆あのととき

教えない体育との出会い

阪本 英 (48)

◆子どもを

育てる勘所

自己学習力の体得を志向して

中谷内 政之 (50)

若手教員へ

(学校行事)
学校行事で学習力を育てる

日和佐 尚 (53)

《特別寄稿》

算数的活動としての「空操作」

小西 豊文 (56)

《実践寄稿》

子ども自作のループリックで

元木 幸 (62)

目標達成力を身につける

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙 カット絵・嶋守哲夫



〈グラビア〉

6月9日 学習研究集会

〈序文〉

ね ば り 強 さ 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法

—「なかよし」の学習力を育てるすじ道—

「なかよし」学習のあり方を考える 中谷内 政之 (4)

子どもたちの「なかよし」を育む力 梶田 萬理子 (10)

「なかよし」を育てる6つの活動場面 太田 誠 (16)

❖子ども記 私の研究聞いてほしい 大野 智子 (22)

実践

食 の 研 究 廣岡正昭 (24)

「おはなし&おたずね学習」の 創生と定着(一年・なかよし) 杉澤 学 (30)

子どもと創る総合的な学習の道筋 阪本 一英 (36)

育ちゆく体とわたしたち 水原 睦 (42)

❖あ の とき… 羊のいた、あの頃 堀本 三和子 (48)

❖子どもを 育てる勘所 都留 進 (50)

若手教員へ (校外学習) 追究の目を育てる校外学習 (自律した学び) 「おたずね」と「めあて」 谷岡 義高 (53)

〈特別寄稿〉

授業イメージを高めるといふこと 伏木 久始 (56)

〈実践寄稿〉

算数に親しむ「環境創り」 神山 繁樹 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙 カット絵… 嶋守 哲夫



2006.10 第423号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》

かがくのひろば

《序文》

六 正 諸岡英雄 (1)

【主題】

確かな力を培う学習法
——「けいこ(科学的領域)」の学習力を育てるまじ道——

理科の学習力を育てる道筋

中谷内政之 (4)

理科における表現力と読解力

谷岡義高 (10)

低学年で育てたい科学的な
問題解決の素地

杉澤学 (16)

◆子ども記

東吉野村での林業体験
(学習作文より)

小幡肇 (22)

【実践】

六月流豆忍者修業ファイナル(六年)

——わたしの進む道——

岩井邦夫 (24)

麺の旅くそば・パスタ・ラーメン編(三年)

——しごと「食べ物たんけん」の実践(V)——

堀本三和子 (30)

子どもの幅を認め合う学習

太田誠 (36)

校種間連携活動「はてな?の広場」の実践

——小・中等連携WG「かがくのひろば」の取り組み——

日和佐尚 (42)

◆あのととき…

「人間は「ある」の?「いる」の?」

山上真佐枝 (48)

◆子どもを

育てる勤所

若手教員へ

(日記指導)

学習の基盤をつくる日記指導

相田萬理子 (50)

(学級なかよし)

笑いの文化といじめ

阪本一英 (53)

《特別寄稿》

理科で育つ・理科で育む

鈴木盛久 (56)

《実践寄稿》

美術館を活用した

鑑賞学習の指導法の研究

大塚和子 (62)

会員のひろば (68)

あとがき (71)

表紙・カット絵…嶋守哲夫



《グラフィア》

力を出しきる

《序文》

六 邪 諸岡英雄 (1)

主題

確かな力を培う学習法
——「げいご言語的・数理的領域」の学習力を育てる手じ道——

考えを深める子どもに 梶田 萬理子 (4)

子どもが自ら算数学習を 日和佐 尚 (10)

つくるための指導

子どもの学びのすじ道を楽しむ 太田 誠 (16)

—A子の算数日記より—

◆子ども記 「学習への重い？」 辞書・事典・参考書 谷岡義高 (22)

実践

ひみつのほこをつくらう 都留 進 (24)

—小さな箱の空間構成—

「じつ」と「学習の創り方」【資料編】 小幡 肇 (30)

—「子どもの発表」を軸にした学習計画作成手順(教師力)—

子どもと創る総合的な表現運動 阪本 一英 (36)

音楽を身体で感じよう 山上 眞佐枝 (42)

◆あのととき… あの経験がなければ 大野 智子 (48)

(力を出せる場)

◆子どもを 育てる勘所 廣岡 正昭 (50)

若手教員へ

(言葉と学習)

美しい言葉話す子ども 杉澤 学 (53)

《特別寄稿》

子どもの体を育てるといふこと 岡野 昇 (56)

《実践寄稿》

真の「計算力」を育てる算数の授業 杉能 道明 (62)

会員のひろば (68) あとがき (72) 表紙・カット絵…嶋守哲夫



《グラフィア》

学習研究発表会

《序文》

か た ち 諸岡英雄 (1)

【主題】

確かな力を培う学習法

——「けいこ社会的・家庭生活的領域」の学習力を育てるすじ道——

社会科における学習力の伸ばし方

——問題解決的な学習で育つ確かな力——

廣岡正昭 (4)

社会的領域の学習で育つ子どもと

その「すじ道」改訂の方向性

小幡肇 (10)

家庭生活的な学習で

育てたい生活実践力

堀本三和子 (16)

❖子ども記 お弁当のある環境 山上真佐枝 (22)

【実践】

名画に学ぼう

——表現と鑑賞をつなぐ造形学習——

都留進 (24)

一年生における「暗算の可能性と限界」の一考察

——「お金をうかしたみたいをどう二年」の実践から——

日和佐尚 (30)

三年太陽の学習から省エネ学習へ

谷岡義高 (36)

言葉に着目して読み深める(二年)

大野智子 (42)

❖あのととき… 自然との対話 杉澤学 (48)

(三人組の学習)

❖子どもを

育てる勤所

三人組の学習を 岩井邦夫 (50)

若手教員へ

(イメージのある学び)

学びの見通しを子ども自身にもたせる 太田誠 (53)

《特別寄稿》

学校現場と大学の協働による

授業実践と教師教育

藤田武志 (56)

《実践寄稿》

主体的な相互学習をめざして

加島寿子 (62)

会員のひろば (68) あとがき (70) 表紙・カット絵：嶋守哲夫



2007. 4 第426号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》
学習研究発表会

《序文》
自由 諸岡英雄 (1)

主題 確かな力を培う学習法
——「けいこ造形的・体育的領域」の学習力を育てるすじ道——

感性を育てる造形学習 都留 進 (4)
——造形学習の自律的な学びのすじ道——
子どもが生きる附属の体育の学習法 岩井邦夫 (10)
子どもの生活発展をめざす体育学習2 阪本一英 (16)
——生活発展をめざす「学習力を育てるすじ道」——

❖子ども記 子どもは変わったか? 廣岡正昭 (22)

実践

物語を読もう「大造じいさんと坊ン」(椋鳩十作) 梶田 萬理子 (24)
自分たちで進める「教科書算数」の学習の実践 日和佐 尚 (30)
——かくれた数はいくつ(3年)——
「田んぼと米づくり」①(二年・しんじ) 杉澤 学 (36)
——学習前の子どもの事物認識——
家族で食べる朝ごはん(五年生) 太田原 みどり (42)
——食に関する学習——けいこ(家庭科)より——

❖あのととき… Sの成長から 水原 睦 (48)
❖子どもを育てる勘所 子どもの発言(話)の聴き止め方 小幡 肇 (50)
——(なかよしづくり) 堀本 三和子 (53)
——(はじめての一步) 一年生の学習づくり——

《特別寄稿》
改めて、社会科の「知識」を問う 北 俊夫 (56)

《実践寄稿》
活動的・探究的な学習を展開する図形の授業をデザインする 佐藤 学 (62)
——低学年における対称性——

会員のひろば (68) あとがき (71) 表紙・カット絵:嶋守哲夫



2007. 6 第427号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集

《グラフィア》

学習研究集会

《序文》

報告 諸岡英雄 (1)

主題

子どもの自己創造を促す学習法
——自分のよさに気づく——

子どもが「自分のよさ」に

気づく学習法

廣岡正昭 (4)

自分のよさに気づく学習生活

——「自由研究」からの学び——

堀本三和子 (10)

自らのよさに気づき

伸びる子ども

大野智子 (16)

子ども日記 「まほろば科学館」だより 谷岡義高 (22)

実践

算数研究を楽しもう

——カレンダートリック(三年)——

日和佐尚 (24)

「田んぼと米づくり」②(二年・三)と

——学習の着眼と構想——

杉澤学 (30)

総合的に取り組む器械運動

での子どもへの育ち

阪本一英 (36)

子どもにとつての

健康診断を考える

水原睦 (42)

あゝのとき：もう一度 大学へ 西條友香 (48)

子どもを

育てる勤所

(音楽好きになる)

音楽にも「適時」がある

山上眞佐枝 (50)

若手教員へ

(数感覚について)

畔柳英徳 (53)

《特別寄稿》

思考力を育てる 道田泰司 (56)

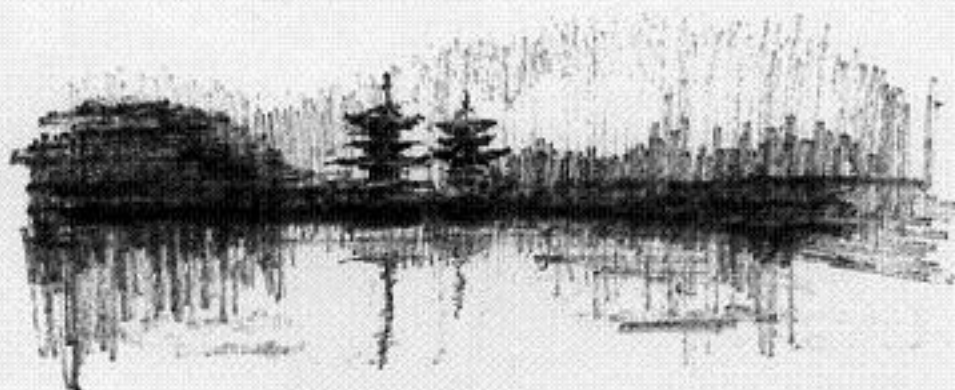
《実践寄稿》

文化財出前考古学教室を

活用した歴史学習

松永佳子 (62)

会員のひろば (68) あとがき (69) 表紙：都留進・カット絵：嶋守哲夫



《グラビア》

7月・9月の取り組みから

《序文》

五 訓 諸岡英雄 (1)

【主題】

子どもの自己創造を促す学習法
—友だちのよさに学ぶ—

友だちの良さをどう見つけるか 梶田 萬理子 (4)

友達のよさから学ぶ音楽学習 山上 眞佐枝 (10)

子どもが友だちのよさから学ぶ学習法
—「体操的生活」からの学び— 西下旬也 (16)

◆子ども記 遠 泳
—自分への挑戦— 堀本 三和子 (22)

【実践】

子どもによる授業を通して自分の「世界」を拡充する子ども
「五・七」学習 —「新日産八幡製鉄所のモデル輸入をめぐって—

小幡 肇 (24)

理科室のお作法 谷岡 義高 (30)

日本の国の問題を考える 阪本 一英 (36)

—六年生総合的な学習の取り組み—
子どもの数量感覚を豊かにするための授業
—1000までの数(2年)の実践から— 畔柳 英徳 (42)

◆あのととき… 「学習法」との出会い 大野木 位行 (48)

◆子どもを 育てる勘所 (造形技能) 都留 進 (50)

若手教員へ (本を好きになる) 大野 智子 (53)

読書好きな子を育てる

《特別寄稿》

フィンランド・英国に 岡本 正志 (56)

おける教育改革の動向

《実践寄稿》

総合的な学習の時間を核とした理科学習の大単元化への試み 山中 哲夫 (62)

—稲作・水田ピオトープを通して—

会員のひろば (68) あとがき (72) 表紙…都留進・カット絵…嶋守哲夫



2007. 10 第429号



奈良女子大学附属小学校学習研究会・編集